

## 平成29年度事業報告

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

国内では、企業と家計の所得改善が消費と投資の増加を支える動きが続き、景気拡張期間が「いざなぎ景気」を上回る戦後2位に達するなどその安定が際立つ堅調な動きをみせております。県内においても同様の景気動向であり、先行きについても各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されている。

一方県内シルバー人材センターの現状は、定年延長や再雇用制度により65歳までの雇用が着実に進んでいることもあり、会員数の減少、加えて会員の高齢化により一部の請負業務において困難な事態が生ずるなどシルバー事業の運営は依然として厳しい状況が続いています。

当センターの平成29年度事業の概要は下記の表のとおりです。

項目	平成29年度実績	平成28年度実績	対前年度比
会員数	280人	288人	97.2%
就業実人員	243人	243人	100.0%
就業率	86.8%	84.4%	102.8%
受託件数	5,195件	5,378件	96.6%
配分金額	115,672,984円	120,032,295円	96.4%
契約金額	146,930,806円	150,942,248円	97.3%
派遣事業	6,679,210円	8,460,113円	78.9%
補助金(国)	7,830,000円	7,830,000円	100.0%
〃(町)	7,830,000円	7,830,000円	100.0%

平成29年度、新入会員は30人を超える入会がありましたが、高齢による退会等により依然、会員の減少傾向に歯止めがかからない状況であります。契約金額は、146,930,806円であり2.7%減額となりました。特に民間事業所からの受注減が大きな要因として考えられます。このような中、会員の確保については県連合会とともにシルバー人材センターでの就業や職業紹介による雇用を前提として知識、技術の習得を目指して当町や近隣市町で技能講習を開催したほか、独自に女性会員拡大の講習会を実施し会員拡大に努めました。就業拡大では、広報紙による会員がおこなう仕事案内のほか企業訪問による新たな受注に努めました。安全就業については事故件数(物損事故、傷害事故)が増え、引き続き安全講習会、安全パトロール、職群別研修会等による安全対策を今後も引き続き行い万全を期す必要があります。また、委員会活動につきましては、総務委員会では互助会活動の活発化を図り、会員の融和と親睦、シルバーの活動についてPR行いました。事業委員会では、会員からの改善提案を受け作業の効率化に努めるほか、会員への技能講習会、空き家管理サービス事業実施に取り組ましました。広報・地域委員会では、今年度も地区毎に「地域懇談会」の開催と新たに会員向け広報紙を発行しました。安全適正就業委員会では、安全パトロールの実施と事故発生要因の分析を行い、事故発生の防止に努めました。会員の皆さんには今後一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、以下、平成29年度の事業状況を報告いたします。